



クリスマスにおすすめの本



クリスマスのふしぎな箱【福音館書店】
 (文)長谷川 摂子 (絵)斉藤 俊行
 クリスマスといえば、サンタクロースとプレゼント。
 ある日、男の子は家の庭でふしぎな箱を見つけます。
 その箱を開けると中には…。
 クリスマスまでのワクワクする子どもの気持ちをふしぎな箱を通して描かれています。クリスマスには珍しく、どこか懐かしい日本の家庭を舞台に親しみやすく温かさが伝わります。(低学年向き)

ちいさなちいさなサンタクロース【佑学社】
 (作・絵)フィリップ・コランタン
 (訳)のむらまりこ
 サンタクロースに誰も会ったことがないのはなぜなのでしょう？
 サンタクロースに会いたいみんな、必見です!!



サンタクロースと小人たち【偕成社】
 (作)マウリクナス (訳)いながき みはる
 クリスマスイブの日に贈り物を配るサンタクロース。クリスマス以外の日は、どこでどうやって過ごしているのでしょうか？もの作りの小人たちも登場し、フィンランドにも思いを馳せる事ができます。子どもたちにも人気。本も大きく遠目もききますが、絵が細かいので、できれば近くに寄って見てもらうと楽しさ倍増！ (10分少し超えます)



アンナの赤いオーバー【評論社】
 (文)ハリエット・ジーフェルト (絵)アニタ・ローベル
 (訳)松田真弓
 あるヨーロッパの冬、女の子にお母さんは言った。「新しいオーバーを買ってあげようね」と。
 だが、戦争が終わったばかりで、お店には物もなく、また、お金も食べ物すら充分にない。そこでお母さんは家にある金時計を見て良い事を考えた…。
 女の子の気持ちになって、羊毛からオーバーができるまでの一年間をたどり、ワクワクできる本です。



とのさまサンタ【リブリオ出版】
 (文)本田カヨ子 (絵)長野ヒデ子
 外国のお客様からもらったクリスマスの本を見た殿様。自分もクリスマスを用意をすっかり整えたのに、12月24日はまだまだ先…。
 時代劇風の異色のクリスマスのお話で、楽しめます!!

こまったクリスマス【西村書店】
 (文)R. ジョンソン (絵)バーナデット
 (訳)もきかずこ
 ある年のクリスマスイブ2とうのトナカイは、こっそり小屋をぬけだしました。がっかりしたサンタはネズミ ウサギ ロバ ライオン ラクダ ぞう リュウに頼みましたが、問題ばかり……。
 サンタのこまった顔が目にかぶお話です。

